

F・バシエ生誕 100 年、日本万国博覧会から 50 年

音と 造形の レゾナンス



バシエ音響彫刻《川上フォーン》大阪府蔵

ーバシエ音響彫刻と岡本太郎の共振

Résonance du son et de l'objet - La rencontre entre les Structures sonores Baschet et Taro Okamoto

2020年4月25日(土)~7月12日(日)

PRESS RELEASE



岡本太郎は、芸術がすべての人と共有するものであるという理念を貫き、《太陽の塔》をはじめとする多くのパブリック作品を制作しました。彼と同じく、誰でも自由に演奏することのできる楽器でありオブジェでもある「音響彫刻」という新しいスタイルを生み出した芸術家がフランソワ・バシエとベルナール・バシエの兄弟です。フランスで過ごした岡本太郎とバシエ兄弟。フランスの風土と文化が彼らの芸術観を育んだのです。バシエ兄弟の作り上げた「音響彫刻」の造形美と音響は、世界的な評価を得てパリ装飾芸術美術館や MOMA など世界各地の美術館で展示されました。1970年の大阪万博には鉄鋼館ディレクターであった、作曲家・武満徹がフランソワ・バシエを招聘して鉄鋼館に展示されました。芸術に対する心情を同じくする岡本太郎の《太陽の塔》とバシエ兄弟の「音響彫刻」は万国博覧会を舞台に偶然にも隣り合わせとなって多くの人々に共感を与えることとなったのです。万国博覧会以後、鉄鋼館に保管されていた「音響彫刻」は、大阪府(当時・万博記念機構)、東京藝術大学、京都市立芸術大学が中心となり、当時と変わらぬ美しい造形美と音響を取り戻しました。

本展は、バシエの「音響彫刻」5点を一堂に集め岡本太郎の芸術空間で共演させるという試みです。会場では、音楽アーティストによる演奏会やワークショップなどのイベントを開催いたします。《高木フォーン》《川上フォーン》《桂フォーン》《渡辺フォーン》《勝原フォーン》のそれぞれ異なる個性的な造形は、奏でる人によって無限の音色を発し、岡本太郎の作品との共演によって更なる芸術的空間を創造し人々を魅了するでしょう。

展覧会概要

展覧会名 音と造形のレゾナンスーバシエ音響彫刻と岡本太郎の共振

会 期 2020年4月25日(土)～7月12日(日)

開館時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)

休 館 日 月曜日(5月4日を除く)、5月7日、5月8日

観 覧 料 一般 900(720)円、高・大学生・65歳以上 700(560)円、中学生以下は無料

※()内は20名以上の団体料金

主 催 川崎市岡本太郎美術館

後 援 在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本、公益財団法人日仏会館

企画協力 バシエ協会

協 力 大阪府、東京藝術大学 GEIDAI FACTORY LAB、京都市立芸術大学 芸術資源研究センター、和光大学、digiart,Inc.

助 成 公益財団法人花王芸術・科学財団

同時開催 常設展 「太陽の塔への道～太陽の塔は「生命の樹」だった」

会期:2020年4月16日(木)～7月12日(日)

みどころ

●50年振り！バシェ音響彫刻5点が一堂に会する

1970年の大阪万博では、岡本太郎の《太陽の塔》とバシェ兄弟の「音響彫刻」は隣り合わせて展示をされました。この度、50年振りに17基あるバシェ音響彫刻のうち、復元された5基を岡本太郎美術館で一堂に展示します。



バシェ音響彫刻《勝原フォーン》大阪府蔵

●バシェ音響彫刻の魅力を伝える多彩なイベント

科学的な側面からバシェ音響彫刻の魅力を伝えるための様々なイベントを開催します。多分野で活躍するミュージシャンによるコンサートは必見！週末に響き渡るバシェ音響彫刻の音色をお楽しみください。

本展覧会は全ての作品の写真撮影が可能です。(フラッシュ、三脚の使用は不可)

豪華な出品作品の数々を写真におさめ、SNSでシェアしましょう。

主な出品作品(予定)

岡本太郎 絵画 7点、彫刻 17点、レリーフ 8点

バシェ音響彫刻 《高木フォーン》、《川上フォーン》、《桂フォーン》、
《渡辺フォーン》、《勝原フォーン》

バシェ関連映像 2点



岡本太郎《飛ぶ眼》1961年 キャンバス、油彩

関連イベント

レクチャー「バシェから受け継ぎ、未来へつなぐ」

F・バシェの愛弟子マルティ・ルイツがバシェの世界を語ります。

日時:4月26日(日) 14:00~16:00

演奏・講師:マルティ・ルイツ(サウンド・アーティスト、バシェ研究者)

場所:企画展示室 料金:無料(要観覧料)



マルティ・ルイツ

ワークショップ「バシェ音響彫刻の世界で遊ぼう」

音響体験を通してバシェの世界を楽しむワークショップ。

日時:4月29日(水・祝) 14:00~16:00

演奏・講師:マルティ・ルイツ 対象:どなたでも(未就学児は保護者同伴)

定員:30名 場所:企画展示室

料金:無料(要観覧料) 申込:電話受付(4/7(火)10:00から受付開始)、先着順

PRESS RELEASE

ワークショップ&トーク

岡田加津子が語るフランスのバシェ工房の滞在記と、バシェの教育音具を使ったワークショップ。

日時:5月4日(月・祝) ①トーク 13:30~14:30 ②ワークショップ 14:45~15:30

講師:岡田加津子(作曲家) 対象:どなたでも(未就学児は保護者同伴)

定員:①自由観覧 ②40名 場所:企画展示室

料金:無料(要観覧料)

申込:②電話受付(4/7(火)10:00から受付開始)、先着順



岡田加津子

シンポジウム

1970年大阪万博、武満徹、F・バシェについて研究者の立場から語ります。

日時:6月21日(日) 13:00~14:30

登壇者:船山隆(音楽学者)、柿沼敏江(音楽学者)、川崎弘二(電子音楽研究)

場所:企画展示室 料金:無料(要観覧料)



船山隆 写真提供:山陽新聞社

バシェ音響彫刻の楽器としての側面と音が脳に与える影響について語ります。

日時:6月27日(土) 13:00~15:00

登壇者:亀川徹(音響学)、仁科エミ(情報環境学)

司会:永田砂知子 場所:企画展示室

料金:無料(要観覧料)

関連コンサート

マルティ・ルイツ コンサート

音楽家のマルティ・ルイツが打楽器奏者の永田砂知子と共演します。

日時:5月3日(日・祝) 15:00~16:00

演奏:マルティ・ルイツ、永田砂知子(打楽器奏者)

場所:企画展示室 料金:無料(要観覧料)



永田砂知子

アンサンブル・ソノーラ コンサート

バシェを愛してやまない京都の4人組アンサンブル・ソノーラによる演奏会。

日時:5月5日(火・祝)、5月6日(水・振休) 14:00~15:00

演奏:「アンサンブル・ソノーラ」岡田加津子(作曲家)、北村千絵(ボーカリスト)、

沢田穰治(作曲家・ベーシスト)、渡辺亮(パーカッショニスト)

場所:企画展示室 料金:無料(要観覧料)



アンサンブル・ソノーラ

PRESS RELEASE

内橋和久 コンサート

ベルリンと東京を拠点に活動する音楽家、内橋和久がバシエ音響彫刻に挑みます。

日時:5月10日(日) 15:00~16:00

演奏:内橋和久(音楽家)

場所:企画展示室 料金:無料(要観覧料)



内橋和久

大倉正之助「五行彩調」

和楽器とバシエ音響彫刻との初めてのコラボレーション。

一部・大倉正之助ソロ演奏 二部・大倉正之助、永田砂知子の共演。

日時:5月24日(日) 14:00~15:00

演奏:大倉正之助(大鼓奏者)、永田砂知子(打楽器奏者)

場所:企画展示室 料金:無料(要観覧料)



大倉正之助

灰野敬二 コンサート

演奏家として様々な楽器の可能性を引き出す灰野敬二がバシエ音響彫刻に挑みます。

日時:6月7日(日) 15:00~16:00

演奏:灰野敬二(音楽家)

場所:企画展示室 料金:無料(要観覧料)



灰野敬二 撮影:舟木和幸

コンサート 武満徹「四季」

大阪万博・鉄鋼館でバシエ音響彫刻のために作曲、演奏された武満徹の「四季」を東京で半世紀ぶりに演奏。

日時:6月21日(日) 15:00~15:30

演奏:山口恭範(打楽器奏者)、吉原すみれ(打楽器奏者)、野尻小矢佳(打楽器奏者)、前田啓太(打楽器奏者)

場所:企画展示室 料金:無料(要観覧料)



山口恭範 撮影:守屋友樹 資料提供:京都芸術センター

バシエ音響彫刻×《マリンバピンポン》演奏会

原倫太郎(現代美術家)の木琴卓球《マリンバピンポン》と安江佐和子演奏による音響彫刻の競演。会期中に《マリンバピンポン》で遊ぶこともできます。

日時:7月4日(土) 14:00~15:00

演奏:安江佐和子(パーカッショニスト)他、卓球選手

場所:企画展示室 料金:無料(要観覧料)



原倫太郎 《マリンバピンポン》

2020年3月吉日

PRESS RELEASE



鈴木昭男 コンサート

何からでも音をつむぎ出してしまう鈴木昭男がバシェ音響彫刻を奏でます。

日 時:7月12日(日) 15:00~16:00

演 奏:鈴木昭男(サウンド・アーティスト)

場 所:企画展示室

料 金:無料(要観覧料)



鈴木昭男 ©Atsushi Koyama_2011

会場音響 BACHET with meditone®

AIが奏でるバシェ音響彫刻の音色が会場内にサウンドオブジェとして流れます。

期 間:4月下旬~7月12日(日) 提 供:山村寿一(digiart,Inc.)

※その他のイベント、詳細につきましては、当館ホームページで随時お知らせいたします。

川崎市岡本太郎美術館ホームページ <http://www.taromuseum.jp>

お問い合わせ

川崎市岡本太郎美術館 展覧会担当:大杉、片岡 広報担当:松井

〒214-0032 神奈川県川崎市多摩区枳形 7-1-5 生田緑地内

TEL:044-900-9898 / FAX:044-900-9966

F・バシエ生誕 100 年、日本万国博覧会から 50 年

音と造形のレゾナンス

ーバシエ音響彫刻と岡本太郎の共振

Résonance du son et de l' objet - La rencontre entre les Structures sonores Baschet et Taro Okamoto

2020 年 4 月 25 日 (土) ~ 7 月 12 日 (日)



①F・バシエ《川上フォーン》
1970 年 大阪府蔵



②岡本太郎《飛ぶ眼》
1961 年 キャンバス・油彩



③武満徹と F・バシエ (万博当時)
資料提供: Ana SANCHEZ BONET



④岡本太郎《梵鐘・歓喜》1965 年 ブロンズ



⑤F・バシエ《高木フォーン》1970 年 大阪府蔵
撮影: 守屋友樹 資料提供: 京都芸術センター



⑥F・バシエ《勝原フォーン》1970 年 大阪府蔵



⑦岡本太郎《挑む》1980 年 紙・墨・絵具

※岡本太郎作品は全て当館所蔵